

大単元	I わたしたちの群馬県	(11時間)
目標	群馬県の位置や地形、交通、主な産業を理解し、群馬県に対する関心を高める。	

単元	I-1 県の様子を調べよう		4月(8時間)
目標	群馬県の地理的環境の特色について考え、その概要を理解する。		
評価規準	(①知・技) 県の地形や人口、交通網、産業等の概要を理解している。 県の地図を活用して、都市分布や地形、交通や産業の様子等を調べ、白地図にまとめている。 (②思・判・表) 県の様子について学習問題を見いだしたり、県の位置、県全体の地形や主な産業、交通網の分布や主な都市の位置に着目して、特色を考え、表現したりしている。 (③主体的態度) 県の都市や地形、交通や産業の様子について予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○群馬県について知っていることや県の位置から、学習問題を立てる。 学習問題例 群馬県の都市、地形、交通、産業はどのような様子なのだろう	○群馬県の様子について、疑問点や調べたいことを考えられるように、知っていること、よく知らないことを書く学習シートを用意する。
	1	○学習問題を解決するための計画を立てる。 <調べる観点>・都市(人口)・地形・交通・産業	○群馬県の様子を予想できるように、上毛カルタの札や、県内の都市ごとの人口を表す統計を用意する。
追究する	1	○群馬県の主な都市の名称と位置、人口を調べ、白地図にまとめる。	○群馬県の市町村の正しい位置や人口を調べられるように、統計資料と白地図を用意する。
	1	○地形や等高線、縮尺の読み方を知り、群馬県の地形の様子について調べ、白地図にまとめる。	○群馬県の地形の特色に気付けるように、地形の様子を可視化する立体図を用意する。
	1	○群馬県の交通網を調べ、白地図にまとめる。	○群馬県の交通と人口の多い都市の関連を考えられるように、交通と人口に視点を当て、白地図に調べたことをまとめるよう促す。
	1	○群馬県の主な産業を調べ、白地図にまとめる。	○群馬県の産業の分布を調べられるように、群馬県各地の産業の様子を示した絵地図と前時までにまとめた白地図を用意する。
まとめる	1	○単元のまとめをする。	○群馬県の特徴を都市、地形、交通、産業、人口の観点を関連付けて群馬県の特徴を考えられるように、観点ごとの様子を記述するシートを用意する。
	1	○単元のまとめテストをする。	

評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」

◇群馬県について知らないことを基に、群馬県の様子について調べたいことを記述している。
<学習シート②>

◇生活経験や資料から予想した、群馬県の様子について記述している。
<学習シート③>

◇群馬県地図を使い、群馬県の市町村の正しい位置や人口を調べている。
<学習シート①>

◇地形図の色分け作業を基に、群馬県の地形の特色を白地図にまとめている。
<学習シート①>

◇群馬県の交通は人口の多い部の南部に集中していることを記述している。
<学習シート①>

◇群馬県では、北部は観光業や農業、南部は重工業や商業が盛んであることを、記述している。
<学習シート①>

◇地形や都市、交通、観光、産業、人口等を複数関連付けて、群馬県の特徴を記述している。
<学習シート①②③>

【備考】

- ・上毛かるたの絵札の画像がカリ管(社会→4年→社会→画像データ→県の様子を調べよう→上毛かるた)に保存してある。
- ・上毛カルタ、上毛カルタの本は社会科部室で管理する。
- ・上毛かるたの絵札の位置を群馬県の地図から探す際には、人物の絵札は除き、自然や名産、観光等の札にしぼるとよい。
- ・前橋市教育委員会より配布された「わたしたちの前橋」に付属している群馬県地図を活用する。
- ・家庭で調べる際は、家にある写真やパンフレット等を用意したり、場所の様子を話したりしてもらうように依頼する。

社会科 4年

単元	I-2 都道府県の様子を調べよう		4月・12月(3時間+3時間)
目標	47都道府県の名称と位置を理解する。		
評価規準	(①知・技) 47都道府県の名称と位置を正しく記述することができる。 (②思・判・表) 意図した都道府県が分かる, 位置, 地形や主な産業等の特徴の組み合わせを表現している。 (③主体的態度) 47都道府県の名称や位置, 地形や主な産業等について, 主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
	1	○地図帳から, 47都道府県の名称と位置, 県庁所在地や名産物等を調べ, 白地図に記入する。	○47都道府県について調べられるように, 地図帳やタブレットを用意する。
	1	○都府県の地理的環境を調べ, 都道府県クイズを作成する。	○条件ごとに当てはまる都道府県が限定されていくことに気付けるように, 条件と範囲の関係性を色付けした白地図を掲示する。
	1	○都府県クイズを出し合う。	○都道府県クイズを出題できるように, 与えられた条件で答えが出るようプログラムをしたタブレットを用意する。
			評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」 ◇ 47都道府県の名称と位置を正しく記述している。 <タブレット, 白地図①> ◇意図した都道府県が特定できるような特徴の組み合わせを記述している。 <タブレット, 白地図②> ◇都道府県クイズを出し合いながら, 都道府県の位置や名称を記述している。 <学習シート③>
		【備考】 ○1年を通して, 都道府県の学習にふれる機会を帯で設定し定着を図るとよい。(時数の+3時間の分) その中でプログラミングの授業を行う。 ○各地の名産物クイズ等を帰りの会等の時間を利用して行うとよい。 ○長期休業の宿題として, 都道府県プリントを活用するとよい。データはカリ管に保存してある。 ○プログラミング学習の指導案等はカリ管データに保存してある。	

大単元	Ⅱ わたしたちの暮らしと健康	5・6・7月（22時間）
目標	人々の健康な生活を支える施設や人々の働きを理解し、自分の生活との関わりに関心をもつ。	

単元	Ⅱ-1 水とわたしたちの暮らし		5月（11時間）
目標	飲料水を供給する事業の様子を捉え、それらが果たす役割を考えるを通して、飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるように進められていることや地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解し、これからも水道水を使い続けるために自分にできることを見いだす。		
評価規準	(①知・技) 飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるように進められていることや、人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解している。 飲料水を供給する事業を観点に沿って調査したり、地図やパンフレットなどの資料を活用して必要な情報を集めたりして調べている。 (②思・判・表) 飲料水を供給する事業について、学習問題を見いだしたり、働きや人々の協力関係と地域の人々の生活とを関連付けて飲料水を供給する事業の果たす役割や節水のために自分たちにできることを考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 飲料水を供給する事業に関心をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調べたり、節水などの取組に協力しようとしていたりしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○飲料水の供給の歴史に関する資料や飲料水と生活との関わりに関する資料を基に学習問題を立てる。 学習問題例 なぜ、わたしたちは生活に欠かせない水道水をいつでも使うことができるのだろう	○自分たちの生活と飲料水との関わりについての問題意識をもてるように、飲料水と川の水の実物や1日1人あたりの水道水使用量、飲料水供給の歴史に関する資料を用意する。 ○予想や調べる方法、調べると分かることを考えられるように、浄水場やダム、水源林などの資料を用意し、「水の流れ」の視点を提示する。
	1	○学習問題を解決するための計画を立てる。 <調べる観点> ・浄水場の働き ・ダムの働き ・水源林の働き	◇飲料水を供給する事業について疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②> ◇予想や調べる方法、調べると分かりそうなことを記述している。 <学習シート③>
追究する	4	○県央浄水場の働きを調べる。(現場学習)	○県央浄水場の施設や設備と人々の取組について具体的に調べられるように、浄水場の設備ごとに分けられた枠のある学習プリントを用意する。
	1	○ダムの働きを調べ、その役割を話し合う。	○ダムが計画的に貯水・放流したり、緊急時に備えたりすることと水の安定的な供給とを関連付けられるように、ダムの位置を示した群馬県の地形図とダムの放流量のグラフを並べて提示する。
	1	○水源林の働きを調べ、その役割を話し合う。	○雨水を涵養している水源林を守る人々の取組ときれいな水の供給との因果関係を見いだせるように、森林管理事務所が発行する水の涵養についてまとめたパンフレットを用意する。
まとめる・生かす	1	○飲料水が自分たちの元に届くまでの仕組みと3つの機関が果たす役割をまとめ、単元のまとめをする。	○飲料水の供給に関わる事業が、安全で安定的に供給していることを考えられるように、3つの機関の役割や働く人々の取組と地域の人々の生活との関わりをまとめる関係図の枠を用意する。
	1	○これからも水道水を使い続けるために、自分にできることを決める。	○自分にできることを選び、決定できるように、節水の具体的な取組を示す資料や、前橋市の節水を呼びかけるパンフレットを基に話し合う時間を十分に確保する。
	1	○単元のまとめテストを行う。	◇諸機関が連携・協力して計画的に水を流していることで飲料水が安定して供給され、地域の人々の生活を支えていることを記述している。 <学習シート①②③> ◇水を大切な資源と捉え、節水をするために自分にできることを記述している。 <学習シート②>

【備考】
 ・県央第二水道事務所の現場学習を行う。
 ・対策や事業などについては、他の地域の人々の協力も得ながら行われていることや、節水や水の再利用などに協力することの大切さについても考えられるようにする。
 ・地形図を活用し、飲料水の元は前橋市外にもあり、たくさんの人々の協力により利用できることを捉えられるようにする。

単元	Ⅱ-2 ごみのゆくえ		6・7月(12時間)	
目標	ごみを処理する事業の取組や工夫によって、ごみが衛生的に処理され、それが市民の衛生的な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解し、それらが持続できるようにするために自らができることを見いだす。			
評価規準	(①知・技) ごみの処理に関わる取組は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるように進められていることや、市民の衛生的な生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。 ごみの処理に関わる施設の取組について観点に基づいて見学・調査したり、資料を活用して必要な情報を集め、読み取ったりして、まとめている。 (②思・判・表) ごみの処理に関わる取組について、学習問題を見いだしたり、ごみの処理と市民の生活環境とを関連付けて考えたりして、表現している。 (③主体的態度) ごみの処理に関わる取組に関心を持ち、主体的に調べたり、ごみの分別や資源の再利用等の取組に協力したりしようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○ごみの処理について資料を基に、学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習問題例 自分たちが出した大量のごみはどのように処理されているのだろう </div>	○ごみの処理についての疑問点や調べたいことを考えられるように、清掃工場へ一日で運び込まれるごみの量を示す資料やごみ集積所の写真、家庭から出るごみや地域のごみ収集の仕方が分かる資料を提示する。	◇ごみの処理に関する疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○学習問題を解決するための計画を立てる。 <調べる観点> ・燃やせるごみの処理 ・資源ごみの処理 ・燃やせないごみの処理	○ごみの処理の仕方について予想できるように、ごみ収集カレンダー、清掃工場の様子、パック状にされた資源ごみ、燃え残ったごみ、ごみ集積所の写真等の資料を提示する。	◇資料から予想したごみの処理の仕方や、ごみの処理が抱えている身近な課題について記述している。 <学習シート③>
追究する	4	○ごみの処理をする施設について、調べる観点に基づいて調べる。(現場学習)	○ごみを処理するための清掃工場の働きや、抱えている課題を捉えられるように、工場の見学とともに清掃工場働く人々の工夫や困り感等を直接聞く機会を設定する。	◇ごみを処理するための清掃工場の仕組みを記録している。 <学習プリント①>
	1	○燃やせるごみの処理の仕組みについて、調べたことを基に話し合う。	○燃やせるごみの処理の仕組みについて整理できるように、清掃工場のごみを処理する流れを示すパンフレットや清掃工場内の写真を提示する。	◇ごみ焼却時の煙の排出や、灰の減量ができるように工夫をして、燃やせるごみの処理が行われていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○資源ごみの処理の仕組みについて、調べたことを基に話し合う。	○資源ごみの処理の仕組みを捉えられるように、資源ごみを処理する仕組みが掲載されたパンフレットや作業の様子の写真、リサイクルマークの画像を提示する。	◇3Rを基本にごみを減らす工夫をして、資源の有効利用をしていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○燃やせないごみの処理の仕組みについて、調べたことを基に話し合う。	○燃やせないごみの処理の仕組みを捉えられるように、燃やせないごみを処理する仕組みが掲載されたパンフレットや最終処分場の残余年数に関する資料を提示する。	◇燃やせないごみを処理する仕組みが、最終処分場になるべくごみを送らないように配慮されていることを記述している。 <学習シート①>
まとめる・生かす	1	○ごみの処理に関わる施設の仕組みをまとめ、単元のまとめをする。	○燃やせるごみ、資源ごみ、燃やせないごみの処理の仕組みや工夫を総合して考えられるように、仕組みや工夫をそれぞれの処理の仕組みごとに分けてまとめる学習シートを用意する。	◇ごみの処理に関わる事業は、市民の生活環境を維持したり向上したりできるようにごみを処理していることを記述している。 <学習シート①②③>
	1	○身の回りにあるごみの処理の課題を解決するために、実現可能で、より効果的な取組を話し合う。	○ごみの処理の課題を解決するための自らが考えてきた取組をよりよい取組にできるように、「実現可能」、「より効果的」の二軸の座標軸がある学習シートを用意する。	◇ごみの処理の課題を解決するために、自らができることに取り組むことの意味や大切さを記述している。 <学習シート③>
	1	○単元のまとめテストを行う。		
【備考】 ・自分の生活との関連が図れるよう、事前に家庭での調査ができるようにする。 ・六供清掃工場の現場学習を行う。 ・基礎資料については「清掃事業概要」(前橋市清掃部)を参照。 ・前橋市では平成18年以降、ごみの排出量が減少してきているが、埋立地が足りなくなること、ごみ処理に多大な費用がかかること、きまりを守らずごみが捨てられていること等の問題を抱えている。現場学習の際に、清掃工場の方から「清掃工場で困っていること」を話してもらえるように確認しておくことよい。 ・つかむ過程で、ごみの処理に関して現在に至るまでに仕組みが計画的に改善され公衆衛生が向上してきたことに触れる。				

大単元	Ⅲ みずから守る！わたしたちの暮らし			9月（8時間）
目標	風水害に対する公助や共助の働きと自助の大切さ、それらに関係する人々の工夫や努力を考え、地域の人々が相互に連携・協力したり、地域の人々と関係機関が連携・協力したりして、風水害から人々を守っていることを理解する。			
評価規準	(①知・技) 風水害防止の取組について、関連機関や地域の人々が連携、協力していることを理解している。 風水害防止の取組について、写真や統計資料、観察、聞き取り調査を基に調べ、まとめている。 (②思・判・表) 風水害防止の取組について、学習問題を見いだしたり、消防署や市役所などの関係機関と地域の人々の工夫や努力と自分たちの生活とを関連付けて考え被害減少のために必要なことを選択・判断したりして、風水害から暮らしを守るために自分にできることを考え、表現している。 (③主体的態度) 風水害防止の取組について関心をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○災害に関わる資料を基に、学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習問題例 風水害からわたしたちの暮らしを守るために、だれが、どんなことをしているのだろう </div>	○前橋市の風水害防止の取組について疑問点や調べたいことを考えられるように、前橋市の風水害や集中豪雨に関する資料を提示する。	◇風水害防止の取組について関心をもち、疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○学習問題を解決するための計画を立てる。 <調べる観点> ・市役所や自衛隊の取組(公助) ・地域の人々の取組(共助)	○前橋市の風水害防止の取組について予想できるように、風水害に対処したり備えたりしている写真やハザードマップを提示する。	◇風水害防止の取組や、それらに関係する人々の働きについて予想したことを記述している。 <学習シート③>
追究する	1	○聞き取り調査をする。(聞き取り調査)	○市役所の人々や自衛隊の風水害防止の取組を具体的に記述できるように、その取組を記述する学習プリントを用意する。	◇市役所の人々の風水害防止の取組を記述している。 <学習プリント①>
	1	○市役所の人々の取組を整理し、その働きを話し合う。	○市役所の人々や自衛隊の風水害被害減少への取組を整理し、その働きを考えられるように、その働きを備えと対処で分類して記述できる学習シートを用意する。	◇市役所の人々が、緊急連絡などの対処と危険箇所の点検などの備えをすることで、安全や財産が守られていることを記述している。 <学習シート①>
家庭	1	○家族に自分の住んでいる地域の自然災害防止の取組を聞き取り調査する。	○地域の人々の風水害に対する取組を調べられるように、具体的な取組やその目的を記述できる学習プリントを用意する。	
	1	○地域の人々の取組を整理し、その働きについて話し合う。	○地域の人々の取組と消防署や市役所の働きとを関連付けて、風水害防止に努めていることを見いだせるように、地域の防災関係の資料や各家庭で聞き取ったことを整理する学習シートを用意する。	◇地域の人々が互いに協力し、消防署や市役所と連携しながら風水害に備えていることを記述している。 <学習シート①>
まとめる・生かす	1	○単元のまとめをする。	○風水害防止に向けた公助や共助の働き、それらに関係する人々の工夫や努力を自分たちの生活と関連付けて考えられるように、消防署や市役所と地域の人々の工夫や努力を整理する図を用意する。	◇前橋市の風水害防止の取組の大切さを自分たちの生活と関連付けて図にまとめている。 <学習シート①②③>
	1	○風水害被害に合わないために自分にできることを考える。	○風水害被害に遭わないために自分にできることを考えられるように、その取組を「実現可能」、「効果的」の視点で整理する学習シートを用意する。	◇風水害被害減少のために自分にできることと、その理由を記述している。 <学習シート②>
	1	○単元のまとめテストを行う。		
【備考】 ・地域での防災活動は、避難訓練や、回覧板での防災情報の周知、自治防災組織の結成、防災マップの作成などが挙げられる。町によって実施状況が異なるので、1学期末に学年通信で保護者に調査の協力依頼をしておくが良い。 ・市役所の人々の取組は、防災危機管理課危機管理係の人々の取組を調べることとする。 ・出前授業の際に前橋市のハザードマップを見学数いただいた。				

大単元	IV 群馬県の伝統と先人のはたらき	(23時間)
目標	人々の生活の変化や人々の願いを理解し、地域の人々の生活について関心をもつ。	

単元	IV-1 秋元長朝と天狗岩用水	10・11月(12時間)
目標	秋元長朝と農民の地域の発展に対する願いや工夫・努力、苦心を考え、先人たちの活躍によって地域の生活が向上したことを理解する。	
評価規準	(①知・技) 秋元長朝と農民が天狗岩用水を開発したことで、人々の生活が向上したことを理解している。 秋元長朝の業績や人々の願い、昔の工事道具等について資料収集したり、観察や聞き取り調査をしたりして、調べたことをまとめている。 (②思・判・表) 天狗岩用水を作った理由について学習問題を見出したり、秋元長朝の業績と地域の人々の生活の変化とを関連させて考えたりして、表現している。 (③主体的態度) 地域の開発に尽くした秋元長朝の業績に関心を持ち、予想や学習計画を考え、主体的に調べようとしている。	
過程	時間	学習活動 指導上の留意点 評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○群馬県内に残る地域の発展に寄与した文化財を概観する。 ○天狗岩用水の場所やつくった人、つくられた時代、長さなどを知り、当時の道具を使って天狗岩用水開削の模擬体験をする。 ○天狗岩用水について資料を基に、学習問題を立てる。 学習問題例 なぜ、秋元長朝や農民は大変な思いをしてまで天狗岩用水をつくったのだろう
	1	○群馬県内の各地に、昔からの文化財があることを理解できるように、県内の地図に文化財の基本情報を貼付した資料を用意する。 ○当時の人々の努力や苦心に共感できるように、模擬体験の感想を話し合う活動を設定する。 ○天狗岩用水について疑問点や調べたいことを考えられるように、天狗岩用水と利根川の高さの違いや工事にかかった年数や掘った距離等を提示する。
	1	○秋元長朝と農民が天狗岩用水をつくった理由を予想できるように、農民の生活の様子や開削前の土地の様子、米の石高の変化、開削当時の絵図等の資料を提示する。
追究する	4	○天狗岩用水について、調べる観点に基づいて調べる。(現場学習) ○秋元長朝について、調べたことを基に話し合う。 ○農民達の努力について、調べたことを基に話し合う。
	1	○秋元長朝と農民の工夫や努力、昔の工事道具等について調べられるように、天狗岩用水の現場学習を設定する。 ○秋元長朝の努力を捉えられるように、力田遺愛碑や秋元長朝の思いが分かる資料を提示する。
	1	○農民達の努力を捉えられるように、天狗岩用水を作った人々の願いが分かる資料や天狗岩用水ができた後の人々の様子が分かる資料を提示する。
まとめる・生かす	1	○単元のまとめをする。 ○秋元長朝と農民の願いや工夫、努力に関連付けて天狗岩用水をつくった理由を考えられるように、天狗岩用水をつくる前の生活の様子や、秋元長朝の業績、当時の工事道具、農民たちが力田遺愛碑を立てた理由を整理して板書する。
	1	○天狗岩用水と現在の人々の生活との関わりについて話し合い、感想にまとめる。 ○先人たちの工夫や努力によって地域の人々の生活が向上してきたことを理解できるように、現在、天狗岩用水の水が利用されている範囲を示した地図や天狗岩用水の関係年表を提示する。

【備考】

- ・天狗岩用水の現場学習を追究する過程で実施する。
- ・資料は総社資料館の資料や「まんが前橋市の歴史」を使用するとよい。
- ・模擬体験では、2人1組で「もっこ」を担ぐ。その際、砂場を利用したり、ペットボトルを利用したりして重いものを担いで長い距離を歩くことの大変さが感じられるとよい。
- ・カリ管室にもっこ用の土嚢袋とひも等が保管してある。また、担ぐ際には実物や竹を用いるとよい。土嚢袋には砂場の砂を入れるが、満杯にすると重すぎて、子どもでは持ち上がらないことが多い。土嚢袋が不足しているときは45リットルのゴミ袋を2枚重ねて使用するとよい。もっこ体験は、体育主任及び、該当時間の体育授業者に事前に確認と了解を得る。

単元	IV-2 群馬の伝統		11・12月(11時間)
目標	群馬県内の文化財や年中行事の様子を捉え、保存や継承に関わる人々の願いや努力を考え、表現することを通して、県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の願いが込められていることを理解する。		
評価 規準	(①知・技) 群馬県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、地域の維持、発展という願いが込められていることを理解している。 上三原田の歌舞伎舞台の保存や継承の取組について、ゲストティーチャーの話やパンフレットなどで調べ、年表にまとめている。 (②思・判・表) 上三原田の歌舞伎舞台の保存、継承について学習問題を見いだしたり、過去と現在の文化財を保存、継承するための取組を関連付けて、保存、継承している人々の地域のまとまりや発展の願いを考えたり、群馬県の文化財や年中行事の保存や継承に関わって自分にできることを選択・判断したりして、表現している。 (③主体的態度) 群馬県内の文化財や年中行事に関心をもち、予想や学習計画を考え、主体的に調べたり、保存や継承などの取組に協力しようとしていたりしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○群馬県の文化財と年中行事を概観し、知っていることを話し合う。	○群馬県の各地で文化財や年中行事が有形文化財や無形文化財として保存、継承されていること理解できるように、文化財や年中行事が書かれた地図や上毛かるた、人の世代を基にした年月を実感できる年表を用意する。
	1	○上三原田の歌舞伎舞台について疑問点や調べたいことを話し合い、学習問題を立てる。 学習問題例 なぜ、上三原田には約200年前からの歌舞伎舞台が残っているのだろう	○上三原田の歌舞伎舞台の保存や継承について問題意識をもてるように、舞台操作を行う人々の映像と、存続の危機があったことが分かる上三原田の歌舞伎公演の年表を用意し、気付いたことや疑問、調べたいことを話し合う活動を設定する。
追究する	1	○学習問題について予想し、調べる計画を立てる。 <調べる観点> ・歌舞伎舞台の仕組み・約70年前の取組 ・約20年前の取組	○予想や調べる方法を考えられるように、存続の危機とその当時の社会の様子が書かれた年表を用意する。
	2	○歌舞伎舞台操作伝承委員の方の話を聞き、保存や継承するための取組を調べる。(聞き取り調査)	○保存、継承の取組について、聞き取り調査をすることができるように、疑問点や調べたいことを基に、インタビューをする場を設定する。
	1	○上三原田の歌舞伎舞台の概要を調べる。	○上三原田の歌舞伎舞台の概要を捉えられるように、文化財保護課が発行するパンフレットや江戸時代の農民の暮らしの絵、歌舞伎舞台が稼働している動画を用意する。
	1	○約70年前の取組について整理し、特色を話し合う。	○住人が指定文化財として登録されるように働きかけて、行政と協力して保存、継承できるようになったことを理解できるように、文化財登録までの取組の様子を整理する年表シートを用意する。
まとめる・生かす	1	○約20年の取組を整理し、特色を話し合う。	○住人が操作伝承委員会を組織し若年層や他地域の人にも操作技術や魅力を伝え、地域を挙げて保存、継承しようとしていることを理解できるように、伝承委員会の取組の様子を整理する年表シートを用意する。
	1	○単元のまとめをする。	○上三原田の人々の地域のまとまりや発展への願いを背景に、歌舞伎舞台が受けつがれてきたことを理解できるように、それぞれの時代の取組や願いの共通点と相違点の視点を提示する。
	1	○前橋初市まつりを今後も続けていくために自分にできることを話し合う。	○前橋初市まつりの保存、継承のために自分ができるところを具体的に「祭りを開く立場」、「祭りに参加する立場」という視点を維持する。
1	○単元のまとめテストを行う。		◇群馬県の各地で文化財や昔からの年中行事があることを記述している。 <学習シート①> ◇上三原田の歌舞伎舞台の保存、継承について疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②> ◇予想や調べる方法を記述している。 <学習シート③> ◇保存や継承に関わる取組を聞き取り、学習プリントに記述している。 <学習プリント①> ◇上三原田の歌舞伎舞台について、調べて分かったことを記述している。 <学習シート①> ◇住人が行政の力を借りて保存、継承しようとしたことを記述している。 <学習シート①> ◇住人が伝承委員会を作り、地域の多くの人に操作技術を広めることで保存、継承しようとしてきたことを記述している。 <学習シート①> ◇歌舞伎舞台の保存、継承するための取組の背景には上三原田の人々の地域のまとまりや発展への願いがあることを記述している。 <学習シート①②③> ◇前橋初市まつりの保存や継承のために自分にできることとその理由を具体的に記述している。 <学習シート③>
【備考】 ・上三原田の歌舞伎舞台の概要については、カリ管室に補完してある資料やPDF化してPCに保存してある資料を参照するとよい。 ・上三原田の歌舞伎舞台操作伝承委員会の方にゲストティーチャーをお願いする場合は、事務局長様に依頼する。夏休み中には連絡をしておくとうい。			

大単元	IV 特色のある地域の人々の暮らし	(21時間)
目標	県内の特色ある地域の様子を理解し、特色あるまちづくりや産業の発展について関心をもつ。	

単元	V-1 観光客が多い片品村		1月(7時間)
目標	自然環境を守りながら、地域の観光などの産業の発展に努めている片品村の人々の生活を理解する。		
評価規準	(①知・技) 片品村に住む人々は、自然環境を守りながら、地域の観光などの産業の発展に努めていることを理解する。 片品村の自然や観光業について、地図や写真、統計資料等の基礎的資料を活用して調べ、まとめている。 (②思・判・表) 片品村の自然や観光業について、学習問題を見いだしたり、片品村に多くの観光客が来る理由について自然環境の保護と自然を生かした観光業の面から多角的に考え、表現したりしている。 (③主体的態度) 片品村の自然や観光業に携わる人々の工夫や努力について予想や調べる学習計画を考え、主体的に調べようとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点 評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」
つかむ	1	○大単元の見通しをもつ。	○特色のある地域を学習していくことでまちづくりのよさを見出していくという大単元の見通しをもてるように、各地域の資料を提示する。 ◇群馬県には様々な特色のある地域があることを記述している。 <学習シート①>
	1	○片品村について疑問点や調べたいことを考え、学習問題を立てる。 学習問題例 なぜ、片品村にはたくさんの観光客が来るのだろう	○片品村について疑問点や調べたいことを考えられるように、片品村の自然環境や人口、観光客数がわかる資料を提示する。 ◇片品村に関する疑問点や調べたいことを記述している。 <学習シート②>
	1	○片品村に多くの観光客が訪れる理由を予想し、調べる計画を立てる。 <調べる観点> ・自然環境 ・観光業の行い方 ・自然を守るための人々の取組	○片品村に多くの観光客が訪れる理由を予想できるように、片品村の月ごとの観光客数がわかるグラフや尾瀬ヶ原の自然を守るための取組がわかる資料を提示する。 ◇資料を基に、片品村に多くの観光客が来る理由について資料を基に予想したことを、記述している。 <学習シート③>
追究する	1	○片品村にたくさんの観光客が来る理由を自然環境の面から調べる。	○片品村と前橋市の自然環境を比較することができるように、土地の高さ、降水量、気温などを記入する二次元表を用意する。 ◇片品村の自然環境は前橋市と違い標高が高いこと、冬季の降雪量が多いこと、美しい山や川があることを記述している。 <学習シート①>
	1	○片品村にたくさんの観光客が来る理由を観光業の行い方の面から調べる。	○片品村では自然を生かした観光業が行われていることを理解できるように、温泉とスキー場の場所を貼付できる片品村の地形図を用意する。 ◇片品村では自然を生かした観光業が行われていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○片品村にたくさんの観光客が来る理由を自然保護の面から調べる。	○片品村では尾瀬ヶ原の自然を守る取組を通して持続可能な観光業を行っていることを理解できるように、尾瀬ヶ原の観光パンフレットや片品村の副読本などの資料を用意する。 ◇片品村では尾瀬ヶ原の自然を守る取組を通して持続可能な観光業を行っていることを記述している。 <学習シート①>
まとめ	1	○調べたことを基に、単元のまとめをする。	○片品村の人々が豊かな自然を利用した観光業を営むとともに、持続可能な産業を行うために自然を守る工夫や努力を行っていることを理解できるように、観光業と自然保護の取組との関係を整理する学習シートを用意する。 ◇片品村では豊かな自然を利用した観光業が行われ、それらを今後も続けていくために自然保護の取組を行っていることを関係図にまとめている。 <学習シート①②③>

【備考】

- ・片品村役場ウェブページ、片品村観光協会公式サイト、片品観光情報サイト等の情報を活用する。
- ・県内の市町村が発行する社会科副読本に記載されている片品村に関する内容の一部をPDF化して保存してある。
- ・まとめテストは、「おりものまち桐生市」とともに行う。

社会科 4年

単元	V-2 おりものまち 桐生市		1・2月(7時間)	
目標	桐生市のまちづくりについて、各機関が発行するパンフレット、年表、地図等で調べ、桐生市のまちづくりの特色を考え、表現することを通して、桐生市に住む人々が協力して特色あるまちづくりに努めていることを理解する。			
評価規準	(①知・技) 桐生市の人々が、桐生織や織物に関連する工場や蔵等の地域の資源を協力して保護・活用して特色あるまちづくりに努めていることを理解する。 桐生市の様子について、各機関が発行するパンフレット、年表や地図等の資料を活用して調べ、まとめている。 (②思・判・表) 桐生市の様子について、学習問題を見いだしたり、関連機関の取組と桐生市の発展とを関連付けたりして、まちづくりの特色を考え、表現している。 (③主体的態度) 桐生市の様子について、桐生織や織物に関連する工場や蔵等の保護・活用に取り組む桐生市の人々の取組に関心を持ち、学習問題や予想、学習計画を考え、意欲的に調べようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
	評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」			
つかむ	1	○桐生市の様子について話し合い、桐生市のまちづくりについて学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 学習問題例 織物業がさかんな桐生市では、だれがどのようにしてまちづくりと関わっているのだろう </div>	○桐生市のまちづくりについて疑問点や調べたいことをもてるように、桐生市の観光客数の推移を表す資料、桐生市の街並み、桐生市と前橋市のまちの様子を提示する。 ○桐生市の人々のまちづくりの取組について予想できるように、桐生織の織機、建物の様子やイベントの写真等を提示する。	◇桐生市のまちづくりの特色に関わる、疑問や調べたいことを記述している。 <学習シート②> ◇桐生市の人々のまちづくりの取組について予想したことを、資料を根拠として記述している。 <学習シート③>
	1	○桐生市の人々がやっているまちづくりに対する取組について予想し、学習計画を立てる。 <調べる観点>・桐生織を作る人々の取組 ・桐生市の地域の企業や人々の取組 ・桐生市役所の人々の取組		
追究する	1	○桐生織を作る人々の取組を調べる。	○桐生織の技法や織機、製品の昔と現在の共通点や相違点を見いだせるように、桐生織の作り方や製品について昔と現在を分けて書く二次元表を用意する。	◇桐生織を作る人々が伝統を守りつつ新しい製品づくりに取り組み、伝統を保護・継承することでまちづくりに関わっていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○桐生市の地域の企業や人々の取組を調べる。	○桐生市の地域の企業や人々の取組の共通点を見いだせるように、桐生市の地域の企業や人々の取組をベン図に記入する学習プリントを用意する。	◇桐生市の地域の企業や人々が桐生織に関連する伝統を活用することでまちづくりに関わっていることを記述している。 <学習シート①>
	1	○桐生市役所の人々の取組を調べる。	○桐生市役所の人々の取組の共通点を見いだせるように、市から人々への支援という視点を提示する。	◇桐生市役所の人々が、桐生の伝統を保護・継承する人々のサポートを伝統的な建物の保存地区を設けたり、補助金を出したりすることでまちづくりに関わっていることを記述している。 <学習シート①>
・ま生とかめする	1	○調べたことを基に、単元のまとめをする。	○桐生織を作る人々、市役所の人々、まちの人々の取組の関係性を見いだせるように、それぞれの取組の関係を整理する学習シートを用意する。	◇桐生市のまちづくりの特色は桐生市の人々が協力して伝統的な桐生織を中心にまちを発展させようとしていることだと記述している。 <学習シート①②③>
	1	○単元のまとめテストを行う。		
【備考】 ・桐生市市役所ウェブサイト、桐生織物ウェブサイト、桐生織物協同組合ウェブサイトの情報を活用する。桐生市繊維振興協会に資料の提供をお願いすることも可能。 ・カリ管室に桐生織の実物や関連機関が発行するパンフレットが保管してある。				

社会科4年

単元	IV-3 外国人が多い大泉町		2・3月(7時間)
目標	大泉町のまちづくりの特色について学習問題を意欲的に追究し、行政や日本人、外国人の協力関係について考え、日本人と外国人が共生できるまちづくりに努めていることを理解する。		
評価規準	<p>(①知・技) 町や学校が外国人も日本人も住みやすい環境を整備していること、日本人と外国人が相互理解に努めていること、外国人が地域住民の一員として活動していることなどを基に、大泉町では日本人と外国人が共生できるまちづくりに努めていることを理解している。 大泉町の様子について地図や写真、新聞記事、パンフレットなどを活用して調べている。</p> <p>(②思・判・表) 大泉町のまちづくりの特色について、学習問題を見いだしたり、学校や行政、日本人、外国人の様々な取組のよさを総合して考え、説明したりしている。</p> <p>(③主体的態度) 大泉町のまちづくりについて関心を持ち、学習問題や予想、学習計画を考え、主体的に調べようとしている。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1	○群馬県内の外国人の多い市町村について話し合い、大泉町の様子について問題意識をもつ。 学習問題例 なぜ、大泉町にはたくさんの外国人が住んでいるのだろう	○大泉町の様子について問題意識をもてるように、前橋市や隣接する邑楽町、千代田町の工業生産額と外国人数のグラフを提示する。
	1	○学習問題について予想や調べる方法を考え、学習計画を立てる。 <調べる観点> ・学校の取組 ・町役場の取組 ・地域住民の取組	○学習問題について追究する見通しがもてるように、町が発行する広報や地域住民によるマナー講座の写真を基に外国人がたくさん住んでいる理由を予想し、学級全体で学習計画表を作成する活動を設定する。
追究する	1	○学校の取組について調べる。	○大泉町の学校では、日本人と外国人の子どもたちが共に学ぶことができる環境作りに努めていることを理解できるように、日本語学級の資料や教員へのインタビュー記事等の資料を用意する。
	1	○町役場の取組について調べる。	○大泉町では、外国人への言語支援、生活支援を通して、日本人も外国人も住みやすい環境を整えていることを理解できるように、「文化の通訳」事業や外国人向け広報等の資料を提示する。
	1	○地域住民の取組について調べる。	○地域住民の取組により、外国人と日本人の相互理解が進み、外国人が地域の生活者として認められるようになってきていることを理解できるように、外国人による地域清掃活動や、炊き出しボランティアなどに関する資料を提示する。
・ま生とかめする	1	○これまでの学習を振り返って単元のまとめをする。	○大泉町のまちづくりの特色について、学校、行政、地域住民の様々な取組の意味を総合して考えることができるように、3つの観点の関係を図にまとめて話し合う活動を設定する。
	1	○単元のまとめテストを行う。	
【備考】 ・大泉町立北小学校のポルトガル語に翻訳された学年通信や町役場が外国人向けに発行する資料がカリ管に保管されている。児童が持ち帰ることがないようにする。			

評価規準<評価方法(観点)> ※太字は「記録に残す評価」

◇大泉町の様子について疑問点や調べたいことを記述している。
<学習シート②>

◇観点ごとに予想や調べる方法を考え、調べた結果や分かりそうなことを記述している。
<学習シート③>

◇学校では、日本人と外国人の子どもが共に学ぶことができる環境作りに努めていることを記述している。
<学習シート①>

◇町では、外国人への言語支援、生活支援を通して、日本人にも外国人にも住みやすい環境づくりに努めていることを記述している。
<学習シート①>

◇地域住民の取組により、外国人と日本人の相互理解が進み、外国人が地域の生活者として認められるようになってきていることを記述している。
<学習シート①>

◇大泉町では日本人と外国人が共生できるようにしていることをまちづくりの特色として記述している。
<学習シート①②③>

社会科 4年

○諸検査について（全1時間）

時間	内容
1	○CRT学力検査（社会）を行う。